

同種施設比較分析表

同種施設比較分析表

町田市が運営している“施設”の中でも「市民センター」「図書館」といった同種の施設に着目して、新公会計制度で明らかになった情報を有効活用するため、同種施設比較分析表を作成いたしました。

同種施設の所管課は、この比較分析表を分析ツールとして、同種施設を相互に比較・分析しました。この分析で明らかになった知見を活用して、成果の拡大や運営コストの削減を図っていきます。各施設のより詳しい内容は、該当ページのシートをご覧ください。

- 同種施設の相互比較にあたっては、行政費用を調整している場合があります。このため、同種施設比較分析表における行政費用・単位あたりコスト分析と、各施設のシートにおける行政費用・単位あたりコスト分析では、金額が異なる場合があります。

<例>

忠生市民センターと忠生図書館は複合施設ですが、貸借対照表における建物(事業用資産)は、忠生市民センター費に計上されています。このため、建物の減価償却費は忠生市民センター費の行政コスト計算書にのみ計上され、忠生図書館事業の行政コスト計算書には計上されていません。

「図書館」という同種施設を比較分析するにあたっては、忠生図書館の建物に係る減価償却費を面積按分により算定し、加算しています。

同種施設比較分析表(図書館)

		中央	さるびあ	鶴川 ^{※1}	金森 ^{※1}	忠生 ^{※2 ※3}	木曾山崎	堺 ^{※3}	鶴川駅前 ^{※3}
基本情報	該当ページ	136	138	140	142	144	146	148	150
	建設年月日	1990年4月16日	1972年5月22日	1972年2月15日	2000年7月4日	2015年2月27日	1976年3月25日	1983年9月25日	2012年8月31日
	資産老朽化比率	48.5%	80.2%	—	—	—	43.1%	—	—

行政費用	人件費	387,682	102,136	40,491	59,894	75,138	50,252	52,130	73,200
	物件費	100,301	27,848	15,836	35,480	39,941	16,454	17,457	47,635
	うち委託料	8,598	7,141	1,922	7,195	13,523	2,412	3,518	20,505
	うち光熱水費	21,436	3,787	1,136	3,680	1,688	1,423	1,279	2,746
	維持補修費	4,768	8,916	121	1,102	0	376	564	37
	補助費等	54,725	15	162	4	30	9	6	39
	減価償却費	32,007	2,253			23,579	3,177	2,405	19,459
	賞与・退職手当引当金繰入額	12,290	7,362	4,385	2,339	3,987	12,116	4,413	1,719
	行政費用合計(千円)	591,773	148,530	60,995	98,819	142,675	82,384	76,975	142,089

単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	5,968	1,260	260	1,500	1,266	321	430	1,344
	1m ² あたりコスト(円)	99,158	117,881	234,596	65,901	112,697	256,648	179,012	105,721
	貸出者数(人)	475,896	113,963	79,572	220,476	104,606	89,792	51,192	199,472
	貸出者1人あたりコスト(円)	1,243	1,303	767	448	1,364	917	1,504	712
	開館日数(日)	300	290	300	300	278	300	300	300
	開館1日あたりコスト(円)	1,972,577	512,172	203,317	329,397	513,219	274,613	256,583	473,630
	貸出点数(点)	1,274,783	426,947	259,097	784,361	430,344	287,798	227,841	616,455
	貸出1点あたりコスト(円)	464	348	235	126	332	286	338	230

※1 URから有償で借りて運営している鶴川、東京都から無償で借りている金森については、減価償却費を計上していません。

※2 2015年度の行政評価シートから新設した特定事業であるため、賞与・退職手当引当金繰入額を調整しています。

※3 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。資産老朽化比率を空欄にしています。

	忠生	堺	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	46,343	16,032	86,572
複合施設全体面積(m ²)	4,687	2,863	5,979
図書館面積(m ²)	1,266	430	1,344
按分減価償却費(千円)	12,514	2,405	19,459

分析欄

①人件費の特徴について

中央図書館、中規模館(さるびあ・金森・忠生・鶴川駅前)、小規模館(鶴川、木曾山崎、堺)の3グループでそれぞれ人員配置数が異なるため、それに従った人件費を支出しています。中央図書館は他の図書館のバックアップに加え、レファレンス、障がい、視聴覚資料等の独自サービスを行っているため、人員を多く配置しています。さるびあ図書館と堺図書館は移動図書館を運営しているため、他の同規模館より人員を多く配置しています。

②施設規模の特徴について

施設運営のため最低限必要な人員を配置しているため、小規模館の1m²あたりコストが高くなっています。

③貸出者数・貸出点数の特徴について

金森図書館は中規模館としては貸出者数・貸出点数が多いため、単位あたりコストが低くなっています。

同種施設比較分析表(市民センター)

		忠生 ^{※1}	鶴川	南	なるせ駅前	堺 ^{※1}	小山
基本情報	該当ページ	336	338	342	346	348	350
	建設年月日	2015年2月27日	1985年10月15日	1987年2月2日	1996年3月19日	1983年3月1日	1995年1月25日
	資産老朽化比率	5.0%	60.6%	58.3%	40.2%	66.2%	42.2%
行政費用	人件費	87,240	112,658	68,822	94,767	75,894	56,253
	物件費	33,323	34,606	23,295	18,386	23,158	24,735
	うち委託料	24,680	14,743	14,229	11,746	14,043	14,702
	うち光熱水費	4,733	6,936	6,876	5,507	6,172	8,767
	維持補修費	52	578	261	2,243	2,724	4,359
	補助費等	0	0	0	0	0	0
	減価償却費	30,214	13,260	12,960	18,216	11,615	31,105
	賞与・退職手当引当金繰入額	11,496	21,599	7,218	26,742	22,638	7,071
	行政費用合計(千円)	162,325	182,701	112,556	160,354	136,029	123,523
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	3,056	2,610	2,117	2,077	2,074	2,788
	1m ² あたりコスト(円)	53,123	70,001	53,160	77,219	65,579	44,309
	利用総人数(人) ^{※2}	61,835	63,815	71,351	73,761	46,594	56,750
	利用者1人あたりコスト(円)	1,200	1,075	654	731	1,281	1,262
	開館日数(日)	360	344	360	360	360	360
	開館1日あたりコスト(円)	450,903	531,108	312,656	445,428	377,858	343,119

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

※2 ホール・会議室等の施設利用

	忠生	堺
建物減価償却費(千円)	46,343	16,032
複合施設全体面積(m ²)	4,687	2,863
市民センター面積(m ²)	3,056	2,074
按分減価償却費(千円)	30,214	11,615

分析欄

①委託料は忠生市民センターの金額が大きくなっています。施設設備が他と比べて充実していることもあり、設備保守点検費用・総合管理委託費用が多額になっているためです。

また堺市民センターは一定規模以上のボイラーを有しているため、ボイラー技士配置が義務付けられ費用がかかっています。

②光熱水費については、忠生市民センターが、他の市民センターに比して低くなっています。これは改築によりLED照明の導入等、省エネルギー機器への更新が図られているためです。

③維持補修費について、各市民センターで差がありますが、これは比較的大規模な維持補修工事実施の年度にあたっているか否かの違いであり、忠生市民センターを除いて通年の維持補修費に大きな開きはありません。

同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

	成瀬	木曾森野 ^{※1}	三輪	つくし野	
基本情報	該当ページ	306	308	310	312
	建設年月日	1979年9月1日	—	2002年3月28日	1982年8月1日
	資産老朽化比率	65.2%	—	29.5%	37.7%
行政費用	人件費	4,938	6,479	7,144	5,550
	物件費	0	12,492	14,656	5,420
	うち委託料	0	8,937	8,264	3,944
	うち光熱水費	0	3,013	5,559	1,131
	維持補修費	0	193	1,524	488
	補助費等	0	0	0	230
	減価償却費	9,869	—	6,191	2,709
	賞与・退職手当引当金繰入額	3,064	1,188	1,270	635
	行政費用合計(千円)	17,871	20,352	30,785	15,032
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	1,929	1,000	1,488	1,003
	1m ² あたりコスト(円)	9,263	20,355	20,683	14,981
	利用総人数(人)	—	41,485	37,922	18,727
	利用者1人あたりコスト(円)	—	491	812	803
	開館日数(日)	—	348	348	118
	開館1日あたりコスト(円)	—	58,483	88,463	127,390

※1 東京都から無償で借りて運営している木曾森野については、減価償却費を計上していません。

分析欄

①2015年度について、成瀬は工事中であったため物件費・維持補修費等がかかっていません。また、つくし野についても、7月から2月まで工事中であったため、行政費用が小さくなっています。また、木曾森野については、賃借物件であるため減価償却コストがなく、一概に比較することが困難な状況です。

②利用者1人あたりコストについては、木曾森野が先述のように減価償却コストがないため低くなっていますが、三輪、つくし野については大きな差はありません。

同種施設比較分析表(連絡所)

		町田駅前 ^{※1}	木曽山崎 ^{※2}	玉川学園駅前	鶴川駅前 ^{※2}	南町田駅前
基本情報	該当ページ	330	332	334	340	344
	建設年月日	1998年4月7日	1982年8月17日	1974年5月1日	2012年9月29日	2009年11月18日
	資産老朽化比率	—	56.1%	56.6%	—	—
行政費用	人件費	33,432	28,600	20,588	32,049	32,041
	物件費	17,390	21,581	11,050	1,288	3,368
	うち委託料	28	13,000	8,118	873	2,669
	うち光熱水費	554	7,397	2,131	194	472
	維持補修費	0	1,007	2,635	0	0
	補助費等	0	0	0	1	0
	減価償却費		11,793	4,657	975	15,941
	賞与・退職手当引当金繰入額	1,086	2,915	1,068	4,955	1,343
	行政費用合計(千円)	51,908	65,896	39,998	39,268	52,693
単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	109	1,611	595	67	178
	1m ² あたりコスト(円)	476,701	40,898	67,224	582,957	295,530
	利用総人数(人) ^{※3}	79,376	19,134	26,206	27,186	45,128
	利用者1人あたりコスト(円)	654	1,613	746	1,444	1,017
	開館日数(日)	330	360	360	309	329
	開館1日あたりコスト(円)	157,297	183,044	111,106	127,081	160,161

※1 町田駅前連絡所は、賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

※3 行政窓口の利用のみ。また、町田駅前、木曽山崎、玉川学園駅前については、行政窓口での取扱件数。

	木曽山崎	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	15,405	86,572
複合施設全体面積(m ²)	2,105	5,979
連絡所面積(m ²)	1,611	67
按分減価償却費(千円)	11,793	975

分析欄

①利用総人数について

町田駅前が、南町田駅前を除く他の連絡所の2倍以上となっています。これは町田駅前の小田急デパートの中にあるという地理的要素が大きいと推測されます。南町田駅前の利用総人数のうち、約3万は図書館資料の受け渡しサービスであり、証明発行等の件数については町田駅前を除く他の連絡所と大きな差はありません。

②利用者1人あたりのコストについて

利用総人数が多い町田駅前が低く、利用総人数が少ない木曽山崎が大きくなっていますが、開館1日あたりのコストは大きな差はありません。

同種施設比較分析表(ふれあい館)

	もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館 ^{※1} (町田)	くぬぎ館 ^{※1} (木曾山崎)	けやき館 ^{※1} (堺)	桜館 ^{※2} (小山田)
基本情報						
該当ページ	202	204	206	208	210	212
建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
資産老朽化比率	62.9%	49.5%	—	—	—	44.0%

行政費用	人件費	20,652	18,293	18,684	18,650	18,458	1,569
	物件費	8,484	9,865	7,039	6,471	3,950	35,448
	うち委託料	4,504	5,576	3,853	3,845	2,428	34,949
	うち光熱水費	3,124	3,753	2,791	2,260	1,074	0
	指定管理委託料 うち光熱水費 ^{※3}						9,614
	指定管理委託料 うち人件費 ^{※3}						15,740
	維持補修費	572	788	1,976	84	529	0
	補助費等	232	304	281	118	160	0
	減価償却費	2,422	4,838	4,391	3,612	2,012	11,654
	賞与・退職手当引当金繰入額	0	0	0	0	0	64
	行政費用合計(千円)	32,362	34,088	32,371	28,935	25,109	48,735

単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	565	720	826	493	359	1,074
	1m ² あたりコスト(円)	57,303	47,377	39,201	58,638	69,864	45,377
	利用総人数(人)	28,255	36,273	33,918	58,975	17,751	36,654
	利用者1人あたりコスト(円)	1,145	940	954	491	1,415	1,330
	開館日数(日)	295	291	294	294	295	295
	開館1日あたりコスト(円)	109,702	117,141	110,105	98,418	85,115	165,203

※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出

※3 受託法人の決算資料から転記

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	23,549	15,405	16,032	30,649
複合施設全体面積(m ²)	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(m ²)	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,391	3,612	2,012	11,654

分析欄

- ①人件費(指定管理委託料のうち人件費)の特徴について
直営5館の平均と比較すると、指定管理者制度を導入している桜館は約10分の1程度に抑えられていますが、指定管理委託料のうちの人件費を含めると同程度になります。
- ②物件費の特徴について
直営5館のうち、建物内でふれあい館事業のみ行っている単独館より、その他の事業を行っている複合館の方が低い傾向にあります。
- ③維持補修費及び補助費等の特徴について
桜館において、40万円以下の修繕やふれあい講座の講師料は指定管理者で行うこととなっているため、委託料に含まれていません。
- ④減価償却費の特徴について
桜館において、他の5館と比較すると面積が広いため、減価償却費が高くなっています。
- ⑤利用総人数の特徴について
山崎団地等の高齢者が多く居住している大規模な団地に隣接している館ほど多い傾向があります。もっこく館は、商業施設や交通利便性が高いため利用者が多いと考えられます。
- ⑥開館日数の特徴について
いちよう館は昨年度末に給水管が老朽化により破損して漏水が発生し、館内の修繕及び復旧作業を行ったため、他の5館より4日程度減っています。